

## 令和元年 12 月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和元年 12 月 26 日（木）  
開 会 午前 9 時 30 分  
閉 会 午前 11 時 00 分
- 2 会 場 茅野市役所 705 会議室
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 教育委員 濱 勝之  
教育委員 永嶋 陽子 教育委員 勅使川原 はすみ
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 平出 信次  
こども課長 五味 健志 幼児教育課長 五味留美子  
学校教育課長 五味 正 生涯学習課長 藤森 隆  
中央公民館長 矢島喜久雄 文化財課長 両角 勝元  
スポーツ健康課長 中村 浩明 こども係長 宮下 孝  
教育総務係長 立石 淳二 生涯学習係長 伊藤 研一  
教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3 名

## 12 月定例教育委員会次第

日時 令和元年 12 月 26 日 (木) 午前 9 時 30 分から

場所 市役所 705 会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

(1) 学校教育課

(2) こども課

(3) 幼児教育課

(4) 生涯学習課

(5) 公民館

(6) 文化財課

(7) スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

(1) 生涯学習課

(2) スポーツ健康課

### 4 議 案

(1) 茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則及び茅野市公民館管理規則の一部を改正する規則について

(2) 教育支援指導主事設置に関する規則及び茅野市公民館分館規則の一部を改正する規則について

(3) 茅野市立小学校及び中学校開放施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について

(4) 令和 2 年度保育園入園式の日程について

(5) 令和 2 年度小中学校入学式・着任式等の日程について

### 5 検討事項

(1) 総合教育会議について

## 6 その他

- (1) 市議会 12 月定例会一般質問について
- (2) 市議会 12 月定例会議決結果について
- (3) 愛してるぜ茅野ミーティング 2019 の報告
- (4) 令和 2 年度地区公民館長の選考について
- (5) みどりヶ丘保育園の耐震改修計画について
- (6) 令和 2 年度からの病児・病後児保育事業について
- (7) 台湾交流事業について

### 次回定例会教育委員会日程について

- 1 月 28 日 (火) 午前 9 時 30 分「704 会議室」
- (事務局会議 1 月 17 日 (金) 午前 9 時 00 分「703 会議室」)

## 7 閉会

教育長

只今から 12 月定例教育委員会を開催します。

前回 11 月の会議録の確認をさせていただきます。承認いただけますでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

報告事項に入りたいと思います。報告第 1 号をご覧ください。

1 日に愛してるぜ茅野ミーティングがありました。ご参加された教育委員さんありがとうございました。今回はテーマを絞り、茅野駅西口の再開発について意見交換をしました。子ども達から非常に素晴らしい意見が出され、これからの参考になると感じました。子ども達の意見を大切にしていきたいと思います。

3 日に商工会議所の役員の方々と懇談会をしました。来年度からの生き方教育について依頼をさせていただきました。

5 日に台湾交流事業報告会がありました。今年度はやや形式を変更し、台湾での学びをいかに深くしていくかを中心とした会となりました。交流のみならず、報告会でさらに学びが深まったと思います。

6 日に議会とコミュニティスクールの会がありました。

7 日に諏訪人権の集いがありました。今年度は北部中学校の生徒がとても心に残る作文を発表してくれました。これからは市の人権関係の研修会などにおいても、作文を紹介してみんなで考える時間をつくっていききたいと思います。

9 日に金田さんの社会教育功労賞伝達式がありました。大きな貢献をされました。

10 日に市性教育研究会がありました。内容は性的マイノリティの LGBT 関係についてご講演をいただきました。11 人に 1 人の割合で LGBT の方がいらっしゃるということで、しっかりと支援ができていければと思います。

13 日に市長と読り一む in ちのとの懇談会がありました。公民協働の取組をこれからも強化してほしいとのお願いが市長さんに対してありました。尚、今年度の調べ学習コンクールでは参加数が今までの最高数となっており、内容は現代的な問題を題材としたものが多くなっています。

また、同日に那須先生が来訪されました。

18 日は議会の最終日でした。同日に商工会議所で来年度の生き方教育の概要について説明をさせていただきました。

20 日に諏訪市町村教育長会がありました。

21日に縄文市民科学習発表会がありました。縄文科では学習内容の自立・協働・創造をさらに一歩深めていくための工夫や、中学校では自立・協働・創造の精神からまちづくりの方向へどのように進んでいくかが今後の課題だと感じます。

本日は定例教育委員会があり、27日は仕事納め式となります。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から1月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

次に議案第1号「茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則及び茅野市公民館管理規則の一部を改正する規則について」をお願いします。

学校教育課長

議案第 1 号の資料をご覧ください。

茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則及び茅野市公民館管理規則の一部を改正する規則についてです。その他 2 の市議会 12 月定例会議決結果においてご説明をさせていただきますが、その中の議案 34 号茅野市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の中で、手数料の内容を改正しています。それに伴い、こちらでも改正を行います。

第 1 条については、茅野市立小学校及び中学校施設の開放に関する規則の一部を次のように改正するものです。

別表第 1 の宮川小学校の項及び玉川小学校の項中「体育館 校庭」を「体育館 小体育館 校庭」に改め、それに伴い別表第 2 開放施設の欄中「体育館 特別教室」を「体育館 小体育館 特別教室」に改めるという内容です。

今まで体育館は同じ料金で徴収をしていましたが、面積の違いがあることから施設を区別した料金設定をし、小体育館の区別を新たに設けさせていただきました。

続いて第 2 条は、茅野市公民館管理規則の一部を次のように改正するものです。

第 9 条第 1 項中「茅野市中央公民館施設備品使用許可申請書」を「茅野市中央公民館施設使用許可申請書」に改め、様式第 1 号から様式第 4 号まで及び様式第 5 号の内容が改まります。備品を別に借用申請していただいていたのですが、今回からは使用料の中に備品を含め、備品について割愛した内容となっています。

議案第 1 号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、議案第 2 号「教育支援指導主事設置に関する規則及び茅野市公民館分館規則の一部を改正する規則について」をお願いします。

学校教育課長

議案第 2 号の資料をご覧ください。

こちらについても、12 月定例会議決結果の議案第 36 号に関係するものです。「会計年度任用職員制度導入に伴う関係条例の整備に関する条例について」を受けた改正となります。来年 4 月 1 日に地方公務員法及び地方自治法の一部が改正となります。適正な任用や勤務

条件を確保するため、新たに会計年度任用職員制度が始まることを受けたものです。「茅野市教育支援指導主事設置に関する規則」及び「茅野市公民館分館規則の一部を改正する規則」が該当します。「茅野市教育支援指導主事設置に関する規則」は次のように改正します。第2条中「(昭和25年法律第261号)第3条第3項の規定による特別職の非常勤の職員」を「(昭和25年法律第261号)第22条の2第1項の規定による会計年度任用職員」に改めます。

第4条の見出し中「任命」を「任用」に改め、同条中「委嘱」を「任用」に改めます。

第5条第1項中「1年」を「法第22条の2第2項に規定する期間の範囲内」に改めます。

第6条第1項中「茅野市特別職の職員の給与に関する条例(昭和31年茅野町条例第15号)」を「茅野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例(令和元年茅野市条例第 号)」に改め、同条第2項中「茅野市一般職の職員の旅費に関する条例(昭和30年茅野町条例第11号)を準用する」を「茅野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の定めるところによる」に改めます。

「茅野市公民館分館規則の一部を改正する規則」については、次のように改正します。

第5条を削り、第6条を第5条とし、第7条から第9条までを1条ずつ繰り上げます。

こちらに関しましては、資料3ページをご覧ください。分館長及び分館主事は当該地域の推薦に基づき館長が委嘱し、その他必要な職員は分館長が委嘱するとありましたが、こちらが任用の関係で削除となります。

議案第2号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、議案第3号「茅野市立小学校及び中学校開放施設利用団体の登録に関する要綱の一部改正について」をお願いします。

学校教育課長

議案第3号の資料をご覧ください。

先程も説明させていただきましたが、12月市議会第34条の手数料条例の改定に伴うものです。茅野市立小学校及び中学校開放施設利用団体の登録に関する要綱の一部を改正するもので、「体育館 校庭」を「体育館 小体育館 校庭」に改める内容です。

教育長

ありがとうございました。

ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、議案第4号「令和2年度保育園入園式の日程について」をお願いします。

幼児教育課長

議案第4号の資料をご覧ください。

今年度の保育園卒園式は3月14日がわかば保育園と玉川どんぐり保育園。3月16日が茅野聖母幼稚園。3月19日がよこうち認定こども園。3月23日が茅野市内公立保育園となっています。出席依頼につきましては、改めてお願いをさせていただきますので、日程のみご承知おきいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

令和2年度の入園式につきましては、4月1日に市内全保育園とよこうち認定こども園にて実施いたします。茅野聖母幼稚園につきましては、4月7日に実施する予定です。こちらにつきましても、ご承知おきいただきたいと思います。

議案第4号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、議案第5号「令和2年度小中学校入学式・着任式等の日程について」をお願いします。

学校教育課長

令和2年3月・4月学校関係行事一覧について説明させていただきます。

卒業式は、3月17日（火）8時40分頃から各小学校で。3月18日（水）8時45分頃から各中学校で卒業式となります。



3月18日（水）16時から、退職教職員、転任・昇任校長及び教頭送別会が市役所8階で実施される予定となっています。

4月1日（月）は7時40分から新任校長辞令交付式があり、終了後には着任式が行われます。

入学式の関係につきましては、4月6日（月）9時頃から各中学校、12時50分頃から各小学校にて入学式が実施される予定です。15時から学童クラブの入所式が行われます。

4月15日（水）18時から学校長・教頭歓送迎会を実施する予定です。

関係者の皆様につきましては、後日通知を発送させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

議案第5号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、検討事項1「総合教育会議について」お願いします。

学校教育課長

今年度第2回目の総合教育会議の開催を2月13日（木）午前10:30より計画しております。

その中で検討する内容等ありましたら、ご発言いただきたいと思います。

現段階で無いようでしたら、事務局で内容を検討させていただきながら、ご相談をさせていただければと思います。

教育長

ありがとうございました。

続いて、その他1「市議会12月定例会一般質問について」お願いいたします。

こども部長

その他1の資料をご覧ください。

令和元年度12月定例会市議会一般質問において、こども部、生涯学習部に係る一般質問の回答内容につきましてご報告させていただきます。

今回は8名の議員より一般質問をいただきました。

まず最初に、矢島正恒議員より「支援を必要とするこども・家庭への取組について」3項目のご質問をいただきました。

1点目の地域で支える子育て応援の充実については、地域で孤立することなく生活できるよう、民生児童委員や主任児童委員に見守りや声かけを依頼しています。加えて子育て部会、コミュニティスクールの「家庭教育支援部会」とも連携を密にし、子どもやその保護者が困り感を地域に発信できる環境づくりを行っています。

地域で解決できる身近な課題は地域で支え合い、地域で解決できない課題や専門性の高い課題は「育ちあいの」が地域とともに解決していきたいと回答をさせていただきました。

2点目の子どもの特性を伸ばす「ギフテッド教育」の取組については、ギフテッド教育は、本年8月7日の総合教育会議にて今井市長からご提案があり、令和2年度の事業実施に向け、実施内容を検討しています。

ギフテッドの定義は、その取り組みが行われているアメリカ等においても、未だ一つに定まったものではありません。

国内においては、渋谷区や岐阜市が実施をしている他、特化した授業を展開している私立の高等学校があり、長野県内での取組みはありません。

特定の能力を伸ばすだけでなく、ひとり一人の子どもたちの個性や多様性を大切に、個性や能力を伸ばすための多様な学びの場を提供していくことを目標に実施内容を検討していると回答をさせていただきました。

3点目の教育委員会、こども・家庭総合支援拠点（育ちあいの）の配置については、「育ちあいの」は、平成30年4月にこども課こども・家庭相談係と発達支援センターを同一フロアに配置し、庁舎6階南側のこども課内に設置しました。

相談体制の充実を図るために、経験豊富な専門スタッフを配置する必要があり職員数を増員したことで、職員一人当たりの専有面積が他の部署と比べ、極端に狭い状況となっています。職場環境については、今年度中に配置等の見直しに向け、現在庁内関係部署で協議を行っているという回答をさせていただきました。

続いて、伊藤正博議員より「食の安全と有機農業について」5項目の質問をいただきました。その中で教育委員会に関係する部分のみご報告させていただきます。

3点目の学校給食での有機農産物の利用についてです。学校給食では、供給量の問題から有機農産物を特定して使用できないが、できるだけ地場産の野菜を使用するよう努めています。地場産団体の協力を得ながら、学校ごとの栄養士が栄養を考慮しながら、旬の地場産の食材を使用した献立を立て、提供しています。

また地場産団体の方に、子どもたちに畑での野菜の作り方をご指導いただいたり、生産者の方と交流給食を行ったりしながら、学校での食育を進めています。

地場産団体の代表者と学校栄養士による地場産連絡協議会を開催し、年間の出荷見込みや学校での使用量について打合せを行ったり、課題等について話し合いを行ったりしながら、地場産野菜の継続的な使用を図っていると回答をさせていただきました。

#### 生涯学習部長

続いて、吉田基之議員より「労働人口減少への対応について」ご質問をいただき、その中で生涯学習部に関係する質問のみご報告させていただきます。

3点目の外国人労働者の増加に対する対応についてです。市内外国籍市民数の推移は、平成28年度末は785人、平成29年度末は812人、平成30年度末は937人と増加傾向にあります。

外国人労働者数等については、諏訪公共職業安定所管内の数値で、平成30年度10月末現在、外国人労働者を雇用している事業所数は、338事業所、外国人労働者数は、1,877人です。

市が行っている外国人への相談体制は、毎月1回開催している「外国籍市民相談」と毎週日曜日に開催している「日常生活相談」があり、平成30年度は207件の相談がありました。相談内容は多い順に、くらし、教育、医療、仕事に関するものとなっています。

また、「日常生活相談」と併せ「日本語教室」も開催し、平成30年度の参加者は延べ223人となっています。

その他、ごみの出し方等を掲載した5か国語及び「やさしい日本語」による生活情報ガイドブックを作成し、サポートしていると回答をさせていただきました。

#### こども部長

続いて、松山孝志議員より「小中学生の登下校における不審者への防犯体制について」3項目のご質問をいただきました。

1点目の現状の情報連絡体制については、児童・生徒が不審者と思われる人物に遭遇した場合、児童・生徒から学校へ、また保護者を通じて学校へ連絡があります。学校は、教育委員会へ報告し、同時に不審者事案として考える案件は、学校または保護者から警察へ通報し、警察が不審者事案かどうか判断しています。

現在、学校及び教育委員会から地区へは、統一して情報提供を行っておらず、不審者事案については、教育委員会から関係者へ連絡する体制がとれるか、関係課と考えていきます。

なお、長野県警が発信する「ライポくん安心メール」等へ登録することで、誰でも情報を受けることができると回答をさせていただきました。

2点目の地域で子どもを見守る体制については、「こどもを守る安心の家」は、学校から商店等へ依頼をして警察に登録をしています。近年は、共働きの家庭が増え、日中留守になる家が多く、登録していただける家を探すのに苦慮するケースがあります。

また、見守り隊のパトロールやコミュニティ運営協議会の役員による下校時の安全パトロール、高齢者による通学路における見守り等を実施しています。

本年度は、各学校のコミュニティスクールを中心として、「地域の子どもは、地域みんなで守ろう」を合言葉に、「ふらっとながら見守り活動」を始めました。通勤や買い物に出かける際も見守りをしていこうという意識づけや犯罪防止の注意喚起につながっていると回答をさせていただきました。

3点目の防犯のために新たに検討される方法については、昨年度各小学校区において、警察、道路管理者、学校、PTA、コミュニティスクールなど関係機関の方々にご協力いただき、通学路緊急合同点検を行い、防犯上の危険箇所の抽出を行いました。本年度も、各小学校区で関係機関の方々による会議を開催し、危険箇所における対策案について検討を行いました。

対策案の主なものとして、ボランティアなどによる見守り活動の強化、草刈りなど環境管理の徹底、防犯カメラの設置などが挙がっています。防犯カメラの設置については、近年犯罪捜査や犯罪防止などで効果が上がっている一方、プライバシーの保護などの課題がありますので、設置に係る課題を整理しながら、設置の必要性を見極めていくと回答をさせていただきました。

#### 生涯学習部長

続いて、両角実晃議員より「茅野市のスケート文化継承への取組について」4項目のご質問をいただきました。

1点目の保育園児のスケート体験教室への取組については、小平選手のオリンピックでの活躍により、子どもたちもスケートに対して高い関心を示し、保育園ではスケート遊びが広がりました。子どもたちの興味、関心に合わせ保育士は、リズム室にブルーシートを敷き、これをスケートリンクに見立てた環境を用意し、この上を牛乳パックで作ったスケート靴を履いて滑るというスケート遊びへと発展させた園もあり、子どもたちはこの遊びを大変楽しみました。

保育園児がスケートリンクで実際のスケートを体験する場合には移動手段の確保や、1対1で面倒を見ることができる人員体制を整えるなど、多くの課題があります。

保育園児のスケート体験については難しい面がありますが、四季の特徴をふまえ、子どもたちの興味、関心を捉えながら、遊びを通して、スケートに関心が向けられる環境を作っていきたいと思います。また、冬場の遊びを通して本物に触れたいと感じる子どもの気持ちを、保護者とともに体験へ結びつくような投げかけを行っていくと回答をさせていただきました。

2点目の小学校のスケート教室への取組については市内小学校のうち、校庭リンクを設営しているのは金沢、北山、泉野の3小学校。整備や指導については保護者や地域の方々のご協力により行われています。近年の温暖化により年間2週間から1か月間程度利用さ

れ、児童がスケートを体験する貴重な機会となっているので今後も継続していただけるよう地域の方々へのご協力をお願いしていきます。

また、すべての小学校において年間1回から3回程度、スケート教室を実施しています。目的は地域の特色あるスポーツに慣れ親しむこと。靴の選択はそれぞれの家庭に任せています。引率と指導は学級担任が行っていますが、スケート経験のない教員も多く、各学級に2名から3名程度のボランティアについていただき、滑り方の指導をしていただければという学校からの要望もあります。このような体制についてスケート協会等の競技団体に働きかけていきたいと思います。

さらに、スケートクラブについては、各学校10名前後が活動し、1シーズン10回前後の大会に参加しており、指導は保護者や外部のコーチ、スケート協会の方等、ここ数年は若い指導者が増え活動が活発になってきたと聞いています。そのような指導者が指導したり、児童や保護者が興味関心を持つようなスケート教室を開催するなどの工夫ができるようスケート協会等の皆さんに働きかけていきたいと回答をさせていただきました。

3点目の中学校のスケート部の活動については、中学校においても指導のできる教員は不在となっています。スケートの活動を継続している生徒は、地域や企業のスケートクラブに所属し、練習を行っています。学校では大会への申し込みと引率を行う形でサポートをしています。

スケートを継続している生徒は少数ではあるが、各クラブの枠を超えた連携により成果を挙げている地域もあるので、そのような取組につきましてもスケート協会等の皆さんに働きかけてきたいと回答をしました。

4点目の茅野のスケート文化継承への取組については、私たちの地域では、記録に残る範囲でも明治40年には氷滑(ひょうかつ)大会、いわばスケート大会が行われていたとの記載があります。これは当地域が誇る「文化」だと考え、こうした文化が継承されていくためには、何点かの環境が必要です。

1点目としてその文化が育まれた背景、経緯が理解されていること、2点目に技術を持った人や組織があること、3点目には、受け継がれる仕組み、後継者を確保、育成する取組が行われること、そして4点目として、公開する場、機会が確保されていることが必要です。

このうち、行政の役割として、場所や機会を確保するために、平成元年に国際スケートセンターを整備しました。また、小中学校のスケート体験授業教室や地域のスケートクラブの練習を中心に、国際スケートセンターを活用してきました。この国際スケートセンターでは、全日本選手権等のトップレベルの大会が行われ、当地域のスケートの拠点として親しまれてきました。市制施行60周年にもあたった平成30年には、小平奈緒選手にも由来する「NAO ice OVAL」の愛称を付け、スケートの知名度を上げ、地域のスケート熱を再興しようという取組を行ってきています。

スケートに触れる機会を設ける取組としても、小平選手が金メダルを獲得した日等を記念し、毎年11月28日、2月8日を「ゴールドメダルデー」とし、未就学児児童の貸靴無料日を設けたり、チャレンジスケート教室を支援し、子どもたちへ普及を図ったり取組を行っています。

当地域の文化の一つとして、この地域の人々をつなぐものとして、また地域の特性を表現するもの、地域の子供たちを育むものとして、欠かすことのできないものであると考えています。これは、行政のみが担うのではなく、地域の方々の理解や協力が欠かせません。今後ともスケート協会、スポーツ協会といった方々との協働を図って、スケート文化の発展、継承に努めていくと回答をさせていただきました。

こども部長

続いて、小尾一郎議員より「課題ごとの施策方針について」7項目のご質問をいただきました。教育委員会の部分のみご説明させていただきます。

3点目の不登校・引きこもり児童対策についてです。厚労省では6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている状態をひきこもりと呼んでいます。文科省では年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由、海外在住、家庭の教育方針等による者を除いたものを不登校児童生徒と定義しています。

令和元年10月25日付の文科省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」により「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があることや、それに対応する形で学びの場の担保や、民間団体と協力していくことの必要性を示しています。

茅野市においては、既に国と同じ方向で、中間教室、サポートルーム、育ちあいちのの設置による支援だけにとどまらず、不登校の親の会や民間団体、障害者自立センター、精神保健福祉センター等の外部団体との連携を進め支援を行っているという回答をさせていただきました。

続いて、木村かほり議員より「こども・家庭総合支援拠点（育ちあいちの）等の支援体制について」4項目のご質問をいただきました。

1点目の「育ちあいちの」の相談体制について、「育ちあいちの」は妊産婦から18歳までの子どもとその家庭に関する総合相談窓口であるため、複雑化した問題が多くあります。相談を受ける際には、相談者の主訴をきちんと聞き取りをし、「育ちあいちの」の受理事業で共有しながら、専門的視点で課題を整理し、児童相談所、警察署、保健所、医療機関、小・中学校、保育園、保健福祉サービスセンター、諏訪圏域障害者総合支援センターなどの専門的機関を含めた支援の検討を行っています。関係機関からの情報収集をもとにアセスメントを行い、支援計画を作成したものを公的関係機関と共有しながらチーム支援を開始し、面談や訪問、関係者会議を定期的に行いながらアセスメントや支援方針の見直しを行い課題解決に向けて支援していると回答させていただきました。

2点目のこども課以外の関係課との連携はどのようにしているのかについて、家庭教育センターや保健福祉サービスセンター等で子どもに関する相談があった場合には、必要に応じて「育ちあいの」につないでいただき受理会議を行っています。

専門機関につなぐ場合には、関係者会議を開催して役割分担を確認したうえで、相談者に同行するなど相談者に寄り添った丁寧な支援に努めています。

公的専門機関につないだ後の経過についても関係機関に確認を行い、相談者にも経過を確認しながら、公的専門機関と連携して支援していると回答させていただきました。

3点目の相談後の支援体制について、児童相談所、警察署、保健所、病院、小・中学校、保育園、保健福祉サービスセンター、諏訪圏域障害者総合支援センターなど公的専門機関との連携により適確な支援を目指します。

専門性が求められる窓口であることから、国や県からの情報収取や各種研修会への参加などにより職員の専門性の向上に努めています。

また、パンフレットやチラシ等「育ちあいの」に届けられた情報等は「育ちあいの」内で回覧し、必要に応じて教育委員会内にも回覧し周知すると共に情報共有を行っているという回答させていただきました。

4点目の離婚等による別居親の相談支援体制はどのようなになっているかについて、離婚等による別居親の相談については、主に母子・父子自立支援員が対応しています。面会交流や養育費に関しては離婚時の合意事項や家庭裁判所の判決等専門的内容であること、また双方の法的利害が絡むことなど意見の食い違いによるトラブルが生じることも多いため、弁護士への相談を勧めています。その際に、法テラスの利用手続きの紹介や、自身で手続きが難しい場合には、できる範囲の支援を行い、手続きが完了できるように支援しています。

また、離婚前相談については、法務省から配布されたパンフレット等を活用し、子どもの利益を第一に考えながら丁寧な説明をするよう対応していますが、市レベルでの対応が難しい場合には、無料法律相談や弁護士、国や県の相談窓口を紹介していると回答させていただきました。

続いて、望月克治議員より「茅野市公共施設再編計画（仮称）について」ご質問をいただきました。この中で教育委員会に関係するものだけ説明をさせていただきます。

5点目の保育園の大規模改修を選択した結果検証について、茅野市の公立保育園は、昭和40年代から昭和50年代に6園、平成元年以降は9園を順次新築しており、人口急増期の子どもを受け入れるため整備を行ってきました。近年は施設の老朽化が進む中、厳しい財政状況の中維持補修に努めてきました。

施設整備について、人口減少や未満児入所の増加など、20年後の入所児童数の動向を注視する必要や、財政的負担を考慮する中で、大規模改修を選択してきました。

大規模改修の費用は新築の試算費用に比べて、4園で約2億6千万円安価であることや充当率95%の有利な起債が借りられることで一般財源の持出しも少なく抑えられることに加えて、交付税措置が受けられるなど、財政的にも最小限に抑えられることができます。

設計においても、一定の制限はあるものの、間取りについてはある程度の自由度の中で行うことができました。今回の大規模改修では、保護者や地域の皆さまで構成する建設委員会を立ち上げ、多くのご意見・ご要望をいただく中、限られた整備費の中で安全面や機能面での不具合も解消することができ、保護者や地域の皆さまからも満足をいただいています。

昨年大規模改修を実施した2園からは、子ども達も園生活に支障なく快適に生活ができています。

今後も将来世代のことを考え、子ども達が安心・安全な環境の中で保育園生活が出来るよう整備に努めていくと回答をさせていただきました。

続いて、6点目の永明小学校永明中学校の建替え計画について、学校施設の管理計画は、「公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として、平成30年3月に「第1次小中学校管理計画」を作成しました。これは、学校施設の老朽化が進み、維持管理や整備など早急な対応を要することから、現在作成中の「茅野市公共施設再編計画」に先立ち作成したものです。

永明小学校及び永明中学校の建替えは、「第1次小中学校管理計画」に基づき進めるもので、小学校と中学校を施設一体型で整備することとしています。

建替えのスケジュールについては、平成30年度に基本構想の策定、令和元年度に基本計画の策定、令和2年度に実施設計を行い、令和3年度の工事着手を目指しています。本年度の取組としては、7月にプロポーザル方式により設計者を選定し、9月から、学校PTA、教職員、地域の方などで構成する「永明小学校永明中学校建設基本構想・基本計画策定委員会」を開催し、基本計画の作成を進めています。なお、策定委員会と並行して、実際に学校を使用している教職員の意見や児童の意見を聞く機会も設け、多くの意見を参考にしながら、全体構想や教室配置等の具体的な検討を行っているという回答をさせていただきました。

その他1については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

勅使川原委員

小尾一郎議員の不登校に関連して質問をさせていただきます。

茅野市内の、不登校の現状やゲーム関係の現状について把握や対策していることについてお聞きしたいと思います。



こども部長

経済的理由で学校へ行けないお子さんは、まず家庭への支援を第一に考えます。

そのような場合には、学校や家庭からいただいた情報をもとに育ちあいのへと繋げた支援を行っています。

解決に向けては、それなりの時間や労力が必要となります。

勅使川原委員

不登校として扱われる場合と扱われない場合では、支援の仕方は違ってくるのでしょうか。

こども部長

あくまでも、定義されているだけであり、それによって支援の仕方が変わることはありません。個々の状況に応じて支援のアセスメントを行い、一人ひとりに寄り添った支援を行っています。

教育長

ゲームやインターネット等に関連する不登校については、相関関係があるようでないものと考えています。ゲームをやっているから不登校になるとは限らず、何か生活の中で克服しなければいけないものがあるからゲーム依存等になってしまうと感じます。はっきりと解明はできていないのが現状です。

勅使川原委員

ありがとうございました。

教育長

続いて、その他 2 「定例会 12 月定例会議決結果について」をお願いします。

こども部長

その他 2 の資料をご覧ください。

全ての案件につきまして、承認及び可決をいただきました。

教育委員会に関連するもののみご説明させていただきます。議案第 34 号「茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について」では、14 本の条例を一括で改正するものです。この中で、小中学校施設使用料条例、公民館条例、茅野市家庭教育センター条例、茅野市体育館錬成館条例、茅野市都市公園条例が関連します。

続いて、議案第 35 号「茅野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について」では、自治法及び地方公務員法の改正を受けて臨時的任用職員を整理し、会計年度任用職員を新たに位置付けるための条例です。

また、それを受けた議案第 36 号「会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例について」では、先程の自治法及び地方公務員法の改正と会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定を受けて、非常勤特別職について整備をしたものになります。

続いて、議案第 38 号「茅野市病児・病後児保育施設条例について」では、来年 4 月から新設される茅野市病児・病後児保育施設の設置条例についてとなります。

続いて、議案第 40 号「令和元年度茅野市一般会計補正予算（第 4 号）について」では、みどりヶ丘保育園の債務負担行為の補正、人事院勧告及び人事異動に伴う人件費の補正、児童扶養手当の支給回数が増えたことによる補正が該当します。

教育委員会関係については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他 3 「愛してるぜ茅野ミーティング 2019 の報告」お願いします。

こども課長

その他 3 の資料をご覧ください。

茅野市ぼくらの未来プロジェクトの一環として、愛してるぜ茅野ミーティング 2019 を 12 月 1 日に茅野市民館で開催しました。

約 120 名の大人と子どもが会議に参加し、「子どもと大人が理解し合い、本音で話ができるまち」をテーマとして、今年は「茅野駅前発展のためには何をしたらいいか？」について、参加者同士で話し合いました。

ワークショップのまとめについては、2 ページ以降をご覧ください。参加者は 12 のテーブルに分かれ、1 テーブル 8 ～ 9 人で、話し合いを行いました。

1 つ目のベルビアについては、現状、理想、実現のためのアイデアをそれぞれ発言していただきました。

2 つ目の茅野駅西口についても、現状、理想、実現のためのアイデアをそれぞれ発言していただきました。

このような機会を設け、話し合う場の大切さを再確認したところです。

3 ページ以降はアンケート結果を記載させていただいています。

ベルビアの関係者をはじめ、多彩な関係者の方々に参加していただき、良い話し合いができたと思います。今後、まとめて提案するものがあれば、市へ提案をしていくことで、話し合いを進めています。

その他 3 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他 4 「令和 2 年度地区公民館長の選考について」をお願いします。

生涯学習課長

その他 4 の資料をご覧ください。

令和 2 年度地区公民館長の選考について、茅野市公民館管理規則第 4 条第 3 項により、地区館長は公民館長が選考し、教育委員会が委嘱することとなっています。

ちの地区から中大塩地区までの地区で 10 名を選考いたしました。よって、1 月 1 日付けで委嘱させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

続いて、その他 5 「みどりヶ丘保育園の耐震改修計画について」をお願いします。

幼児教育課長

その他 5 の資料をご覧ください。

みどりヶ丘保育園については、みどりヶ丘保育園検討委員会からの提言を受け、これに対し市で検討した結果、10 年間は存続することとし回答をしました。

耐震改修工事の設計が完了しましたので、設計概要と今後の予定についてご説明させていただきます。

資料説明（その他 5）

## 【概要】

### 1 はじめに

みどりヶ丘保育園については、みどりヶ丘保育園検討委員会からの提言を受け、これに対し市で検討した結果、10年間は存続することとし回答をしました。

耐震改修工事の設計が完了しましたので、設計概要と今後の予定についてご説明します。

### 2 耐震改修の方針

みどりヶ丘保育園の園舎は耐用年数を経過し、また、耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い」ことから早急に対応が必要な状況です。既存園舎全体の耐震改修を行い、耐震性及び耐熱性の向上を図るとともに、天井、内壁、床の張り替え、LED照明化等を行います。また、現在使用していない保育室及びトイレを除却します。

今後の園児数の動態による統廃合を見据え、10年程度の長寿命化を図るため、令和2年度に耐震改修工事を行います。

なお、設計については、みどりヶ丘保育園統廃合検討委員会からの要望の他に、みどりヶ丘保育園保護者代表による建設委員会でもいただいた要望も併せて検討しました。

### 3 みどりヶ丘保育園の耐震改修設計の概要【資料1】【資料2】

- (1) 設計委託業務契約者 株式会社 坂本建築事務所
- (2) 耐震改修工事の工期 令和2年4月～令和2年10月30日(予定)
- (3) 設計の概要

☐ 延べ床面積 838.34㎡

☐ 構造・階数 木造 平屋建て

☐ 設計内容

- ・基礎の補強、耐震壁の設置、柱や梁などの接合部の強化などを行うとともに、バランスよい壁の配置を行い、耐震性能を向上させます。
- ・耐震壁の設置等に伴い、内壁、天井、床の張り替えを行います。
- ・床・壁・天井に断熱材を入れ、外部サッシ改修を行い、暖房効率を向上させ暖かい保育園とします。
- ・現在使用していない遊戯室南側の保育室及び園児トイレを除却(153.27㎡)し改修面積を縮小します。跡地利用については、砂場や泥んこ広場など園児のスペースとします。
- ・多目的トイレを設置するとともに、園児用トイレに大人用個室ブースを増設し、男女別に利用できるようにします。
- ・保健所の指導により、給食室専用のトイレを設置します。
- ・照明設備を入れ替え、LED照明を設置します。

- ・新たに、職員用の男女別更衣室を設置します。
- ・新たに、乳児室に床暖房設備を設置します。
- ・外壁はひび割れ等を補修して、仕上げて塗装をします。
- ・遊戯室北側のトイレの改修では、除却する遊戯室南側の園児トイレの新しい衛生器具等を再利用します。
- ・廊下の流しは既存を使用します。
- ・給食室は、補修程度とし厨房機器を含め既存を使用します。
- ・屋根は、補修程度とし既存を使用します。
- ・冷暖房器具は既存を再利用します。

#### 4 工事期間中の保育体制

宮川保育園で合同保育を行います。

その他5については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他6「令和2年度からの病児・病後児保育事業について」お願いします。

幼児教育課長

資料その他6の資料をご覧ください。病児・病後児保育事業につきましては、先程の条例改正にありました通り、令和2年度から茅野市が実施していく予定です。事業体制等についてご説明させていただきます。

資料説明（その他6）

#### 【概要】

##### 1 はじめに

病児・病後児保育事業は、児童が病気又は病気の回復期にあり、集団保育の困難な期間において一時的に児童を預かり、保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全育成を図ることを目的としています。

平成18年度から医療法人塚田医院に委託して事業を実施してきましたが、令和元年度をもって契約満了となりますが、委託先の塚田医院からは令和2年度以降は受託できないとの申し出がされました。

市としてこの事業については、今後も継続実施する必要があると考え、新たな事業実施場所等について検討を行い、平成30年度に中央病院の隣接する土地を購入し、今年度、建築工事に着手となりました。

また、ここで令和2年度からの事業実施の概要がまとまりましたので、工事の状況と合わせて報告します。

## 2 事業の実施体制等

諏訪中央病院と協議・検討を進めてきました来年度から病児・病後児事業の実施体制等については、次のとおりです。

- (1) 実施主体 事業の実施主体および施設管理は茅野市  
事業に係る保育士は市で雇用
- (2) 業務委託 医師及び看護師等の派遣を諏訪中央病院に委託予定
- (3) 受入定員 6人を予定
- (4) 開所日 月曜日～金曜日
- (5) 休館日 土曜日、日曜日、祝日、お盆及び年末年始
- (6) 開所時間 午前8時～午後6時
- (7) 受入対象児童 生後6箇月から小学校6年生までの児童
- (8) 保育体制 常勤の保育士2人と看護師1人を配置
- (9) 使用料 茅野市内在住者は無料。市外在住者は有料
- (10) 昼食 希望者へ提供し、費用については実費を徴収
- (11) 寝具 お昼寝用として敷布団については施設で用意し、シーツ代として実費を徴収。掛け布団については、布団、毛布、バスタオル等を持参していただきます。また、枕として使用するフェイスタオルについても持参いただきます。
- (12) 事前登録 当該施設利用に当たっては、事前登録をしていただきます。
- (13) 医師連絡票 施設利用する際は、かかりつけ医に連絡票を作成してもらい施設に提出。施設はこの連絡票により病状等を把握します。
- (14) 利用予約 利用予約については、当面電話による受付とします。  
施設の空き状況については、茅野市ホームページの公共施設予約システムの空き照会を活用し、ネット上で確認できる環境を整備

### 3 病児・病後児保育施設の工事概要【資料1】【資料2】

- (1) 工事請負業者 株式会社 カネトモ
- (2) 工期 令和元年9月24日～令和2年2月28日
- (3) 工事場所 茅野市玉川（諏訪中央病院の東側）
- (4) 工事設計・監理業務受託者 有限会社 下倉設計
- (5) 設計の概要

☐ 敷地面積 576.98㎡

☐ 延べ床面積 94.82㎡

☐ 構造・階数 木造 平屋建て

☐ 設計内容

- ・敷地への出入りは、西側（中央病院側）にスロープを設置します。
- ・駐車場はアスファルト舗装とし、敷地の西側に駐車スペースを8台確保します。
- ・敷地の外周にはフェンス（高さ90cm）を設置します。
- ・感染力の低い疾患の子どもを保育する保育室を設置します。
- ・感染力の高い（インフルエンザ、風疹、水痘など）の子どもを保育する隔離室及び観察室（安静室）を設置します。
- ・保育室、隔離室、観察室には、専用のトイレ、手洗い、シャワー室を設置して衛生面にも配慮しました。
- ・スタッフステーション（事務室）、キッチンを設置します。
- ・冷暖房設備を設置します。
- ・職員用の更衣室を設置します。

その他6については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

続いて、その他7「台湾交流事業について」お願いします。

学校教育課長

その他7の資料をご覧ください。

1月17日に生徒108名、先生18名の計126名が日本に来日されます。17日は箱根に宿泊し、翌日18日の午後に長野県へ訪問されます。

1月19日の午前は車山高原スキー場でスキー体験、午後は丸井伊藤商店、守矢史料館、尖石縄文考古館等を見学されます。19時からはエクスプ蓼科にて交流会が行われます。

翌日の20日には市内各中学校と茅野高校で学校交流が実施されます。交流後は東京へ向けて出発され、21日に東京観光、22日に帰国となります。

台湾交流事業については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回1月の予定になります。定例教育委員会を1月28日（火）午前9時30分から704会議室で行います。事務局会議については、1月17日（金）午前9時00分から703会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で1月定例教育委員会を閉会いたします。



茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和2年1月28日

茅野市教育委員会          教   育   長

同職務者代理

委                          員

委                          員

委                          員

こども部長